創作プログラムのご案内｜受講生を募集します

「イメージの手がかり ～おもしろ紙コップを作る～」

みなさんが生活する中で無意識に使っているものには、使う人のことを考えた見えない工夫が隠れています。その工夫を見つけながら、紙コップや紙皿などの身近な素材を加工して、おもしろい作品を作りましょう。

日時＝5月26日(日) 10時30分～12時
対象＝小学生まで14名（未就学児の場合は保護者同伴）
講師＝横山信人氏（ベニヤ板造形作家）
経費＝無料

申し込み締め切り … 5月19日(日)

「橋本章的カオスとベタ塗り」

強烈な意志とヒューマニズムを縦横の糸として織り成された橋本章氏の芸術は、無意識の領域の混沌（カオス）から豊かなイメージを釣り上げる試みと言えるでしょう。

今も人々を魅了し続ける奇抜な発想と熱い手法をヒントに、はじめに数字や文字・記号などを描く鉛筆ドローイングを制作します。さらに、アクリル・油彩を使い、うねる線・ベタ塗り・グラデーションを活用するペインティング作品を制作してみましょう。

日時＝6月1日(土)、2日(日)、8日(土)
　　いずれも10時30分～16時頃まで（お昼休み1時間）
対象＝高校生以上15名程度　＊申込者多数の場合は抽選
講師＝大町 亨氏（美術家、モダンアート協会会員）
経費＝2,000円程度（絵具を貸出希望の方は＋500円）

申し込み締め切り … 5月17日(金)

お申し込み・お問い合わせは…
県立美術館「実技教室」係　電話024-531-5511
＊美術館総合受付、美術館ＨＰでも直接お申し込みいただけます。

4-5月の開館スケジュール（○印＝休館日）

4月

日	月	火	水	木	金	土
	①	2	3	4	5	6
7	⑧	9	10	11	12	13
14	⑮	16	17	18	19	20
21	㉒	23	24	25	26	27
28	29	30				

5月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪
⑫	⑬	14	15	16	17	18
19	⑳	21	22	23	24	25
26	㉗	28	29	30	31	

利用案内

開館時間‥9時30分～17時（最終入館は16時30分）
休館日‥月曜日（祝祭日にあたる場合は開館）、
　　祝祭日の翌日（土日にあたる場合は開館）
　　展示替にともなう臨時休館：2019年5月7日(火)～13日(月)
観覧料‥‥常設展：一般・大学生 270円（20名以上の団体は210円）、
　　高校生以下無料
　　企画展：展示により異なります。〈企画展〉欄をご覧ください。
　　＊企画展料金で常設展もご覧いただけます。
常設展無料の日‥こどもの日、県民の日（8/21）、敬老の日、文化の日
観覧料の減免‥‥身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方は、常設展・企画展ともに無料です。（手帳をご提示ください）

交通案内

【ＪＲ福島駅・東口より】
●電車…
福島交通飯坂線→「美術館図書館前駅」下車、徒歩2分
●バス…
9番乗場より福島交通バス・市内循環ももりん2コース→「県立美術館入口」下車、徒歩3分
●タクシー…約5分

【自家用車の場合】
●東北自動車道・福島飯坂ＩＣより市街地方向へ約15分

福島県立美術館
〒960-8003　福島市森合字西養山１番地
電話●024-531-5511／ファックス●024-531-0447
ホームページ●https://art-museum.fcs.ed.jp　ツイッター●@fukushima_kenbi

リサイクル適性Ⓐ
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

ART INFORMATION

福島県立美術館ニュース

企画展示
「東日本大震災復興祈念 伊藤若冲展」
2019年3月26日[土]－5月6日[月・祝]

2019/4-5　vol.200

企画展示のご案内

東日本大震災復興祈念 伊藤若冲展

2019年3月26日[火]～5月6日[月・祝]

伊藤若冲（1716-1800）は、江戸中期、京都に生まれた画家です。緻密な線描と極彩色の作品を手がける一方、伸びやかで自由な筆遣いとユーモラスな表現が特徴的な水墨画を数多く残しました。若冲作品の魅力は、なんといっても、動物でも植物でも生きものたちに等しく向けられた画家の眼差しが捉えた、生命の耀きに他なりません。作品を目の前にした人は、そこに命あるものの力強い生きる力を感じ取ることができるでしょう。

本展では、そうした若冲芸術の魅力を堪能していただくとともに、晩年、天明の大火（1788年）で焼け野原になった故郷・京都を目のあたりにした若冲の、復興に寄せた気持ち、芸術に託した想いもご紹介したいと考えています。また、アメリカのデンバー美術館、ミネアポリス美術館などのご協力をいただき、海外の人たちが愛した故に日本を離れることになった作品もご覧いただきます。

2013年、福島県立美術館では、プライスご夫妻の多大なご協力のもとに「若冲がきてくれました」展を開催し、深い感動を与えました。本展は、前回とは異なった視点から再び若冲芸術を見直すことで、あらためてその魅力を伝え、感動と喜びを通して心の安らぎとともに生命のエネルギーを感じていただき、東日本大震災からの復興祈念とするものです。　※会期中、展示替があります。

［展覧会公式サイト　https://jakuchu.org］

主催●東日本大震災復興祈念「伊藤若冲展」実行委員会
（構成：福島県、福島県教育委員会、福島県立美術館、福島民友新聞社、福島中央テレビ）

企画監修●狩野博幸氏（京都国立博物館名誉館員、元同志社大学文化情報学部教授、近世日本美術史家）

休館日●毎週月曜日（4月29日、5月6日は開館）

観覧料●一般 1,500（1,300）円、学生 1,100（900）円、高校生以下無料
＊（ ）内は 20 名以上の団体料金

〔関連事業のご案内〕

■ 講演会「今を生きる若冲絵画―“旦那芸”の凄み―」
日時：4月16日㈫ 14時～15時30分
講師：狩野博幸氏（本展監修者）
会場：美術館講堂（定員250名、先着順）
料金：無料　※整理券を当日11時～講堂前にて配布します。

■ A･O･Z 連携企画レクチャー「伊藤若冲展 見どころはここ！」
日時：4月23日㈫ 14時～15時30分
講師：担当学芸員
会場：A･O･Z（アオウゼ）大活動室 1、2
（福島市曽根田町 1-18 MAX ふくしま 4 階）
料金：無料　※申込不要

常設展示 | 福島県立美術館のコレクション

第Ⅰ期 常設展示

2019年3月26日[火]～6月23日[日]

〔おもな展示内容〕
●日本画の名品：小茂田青樹、池田遙邨など
●特集展示：生誕100年記念 橋本章
●印象派と海外の美術：モネ、ピサロなど
●追悼・浜田知明と秀島由己男

＊臨時休館により5／7㈫～13㈪まで常設展は休止となります。

館長講座 | 受講生を募集します

古典に帰れ―西洋美術の巨匠たち―

西洋美術は古代ギリシア・ローマ以来、2000年以上の歴史と豊かな伝統が築かれています。特にルネサンス以降、数多くの天才的芸術家が古典文化を範としつつ独創的な表現を創出して、新しい時代様式を創造しました。彼らの傑作によって今日、豊穣な西洋芸術の宝物が世界中の人々に深い感動をあたえ続けているのです。

本年度は昨年度に引き続き、バロック以降の各美術様式を代表する巨匠たちの主要な傑作に焦点をあて、その芸術のエッセンスと創造の秘密に迫ります。

●第1回〔＊全6回シリーズ・隔月第3土曜開催〕
「バロック（3）プッサン、ロラン、ラ･トゥール」
日時：5月18日㈯ 10時30分～12時
講師：早川博明（当館館長）
会場：美術館講義室（定員40名、聴講無料）
＊事前の申し込みは不要です。当日、直接会場にお越しください。